

発足100周年へのアプローチ

発足満99年

白寿記念

第62回

同

どう

明

めい

会

かい

能

この国のクラシックを
知らない人へ

平成29年2月25日(土)

正午開演(開場…午前11時半)

京都観世会館

一般社団法人
京都能楽囃子方同明会

京都を中心に活動する能楽の囃子方の団体です。能楽囃子の正しい伝承と技芸向上のため日々研鑽を積んでいます。大正7(1918)年に発足。昭和30(1955)年からは毎年1回、同明会能を開催しています。近年は、囃子堂、囃子LABO、学校公演、子供教室など、能楽囃子普及のため多角的に活動しています。

【能楽囃子とは】

能楽は謡、舞、囃子による音楽劇です。その中で、の楽器演奏を囃子と言います。囃子は単なる音楽的な伴奏ではなく、奏でる音や掛け声など耳に聞こえるもの以外にも、音の無い「間(ま)」や演奏者の姿からも景色や心情、舞台の緊張感が現われます。笛、小鼓、大鼓、太鼓。たった4つの楽器編成ですが、フルオーケストラを凌ぐ表現力を秘めているかもしれません。

発足満99年 第62回 同明会能

平成二十九年二月二十五日(土) 正午始 於 京都観世会館

ごあいさつ 同明会 理事長 前川光長

独調 四海波 今井克紀 伊吹吉博

舞囃子 淡路 金剛龍譚

急々之舞

◎谷口正壽 ◎前川光範
◎林 大和 \ 杉信太郎
山田伊純
宇高竜成
今井克紀
宇高德成

舞囃子 通小町 井上裕久

兩夜之伝

◎河村 大 \ 光田洋一
◎吉阪一郎
橋本忠樹
分林道治
吉浪壽晃
橋本光史

一調 雲林院

浦田保浩 ◎竹村英雄

一調 勸進帳

松野恭憲 ◎井林清一

一調 歌占

林宗一郎 ◎竹村英敏

舞囃子 山姥 片山九郎右衛門

◎武重正律 ◎前川 雪
◎古田知英 \ 杉信太郎

川口晃平
浦田保親
林喜右衛門
田茂井廣道

素囃子 和合連獅子

◎渡部 諭 ◎井上敬介
◎林 大輝 \ 森田保美

演者ごあいさつ

梅若 玄祥

能「清経」は笛を通して妻との心の葛藤を表している作品である

小書 恋の音取は 笛の音に誘われる様に登場するがこれは妻の元に現れる清経のイメージの音楽であると思つて居る

幕を離れた後 数度笛が止まりシテも静止するがこの静寂は 夫婦の凝縮した思いを表現しているのではないか

この能は 夫婦の修羅 そして戦の修羅を描いた作品でありドラマチックな名作である

五拾六世 二代 梅若 六郎玄祥

左鴻 泰弘

恋之音取とは、平清経の霊が妻の元に現れる場面での特殊演出です。通常は地謡の謡の内に登場するのですが、この演出では、笛の断続的な独奏に合わせて、立ち止まりまた歩んで妻の前に現れます。笛方にとつて非常に重い習い事ではありますが、初めて勤めさせて頂く私にとつては、その重さの程は計り知れないものです。この度お許しを頂き披かせて頂くことに深く感謝致しますとともに、息を吹き込み音を出し、そこに心を込めるといふ基本に立ち返り、心身ともにベストの状態を当日を迎えられるよう精進する所存でございます。

休憩（十五分）

素囃子 思出之舞

◎石井保彦
◎曾和鼓堂
森田保美

狂言 死神

作 帆足正規
演出 茂山千之丞

男 茂山宗彦
死神 茂山千三郎
女房 茂山逸平
百使い甲 網谷正美
乙 島田洋海
丙 鈴木 実

後見 井口竜也

三時

休憩（十五分）

一調一管 乱

金剛永謹

◎前川光長
杉 市和

能 清経

清経の妻 片山伸吾
清経の霊 梅若玄祥
淡津三郎 江崎欽次郎
恋之音取

◎井林久登
◎林吉兵衛
左鴻泰弘

後見 味方 團
林喜右衛門
林宗一郎

井上和幸
橋本忠樹
田茂井廣道
橋本光史

分林道治
浦田保親
片山九郎右衛門
吉浪壽晃

終了五時頃

主催 一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

フエ 笛



歌口（息を吹き入れる部分）と指穴の間に薄い管を挿入した「フド」といわれる特殊な構造を持っています。この構造により非常に力強い音色がでます。西洋音楽とは違う音階（五線譜にはあらわせない）が、幽玄の世界へと誘います。

コツヅミ 小鼓



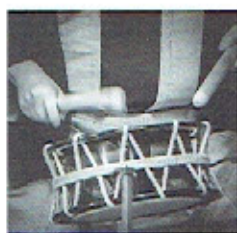
調へ緒の握り具合を変えることで様々な音色を奏でられます。裏皮に貼った和紙に湿り気を与えたり、皮に息を吐きかけたりして速度を調整しながら演奏します。柔らかく妙なる音色が魅力の代表的な和楽器です。

オオツヅミ 大鼓



小鼓と同じ材質とおなじ構造ですが、乾燥を必要とします。演奏前に皮を炭火にあて乾燥させて、調べ緒をきつく締め上げて組み立てます。非常に鋭く高い音が鳴ります。大変堅い皮を手で打つため、指皮というプロテクターを右手にはめて演奏します。圧倒的な迫力ある音が聞く者を魅了します。

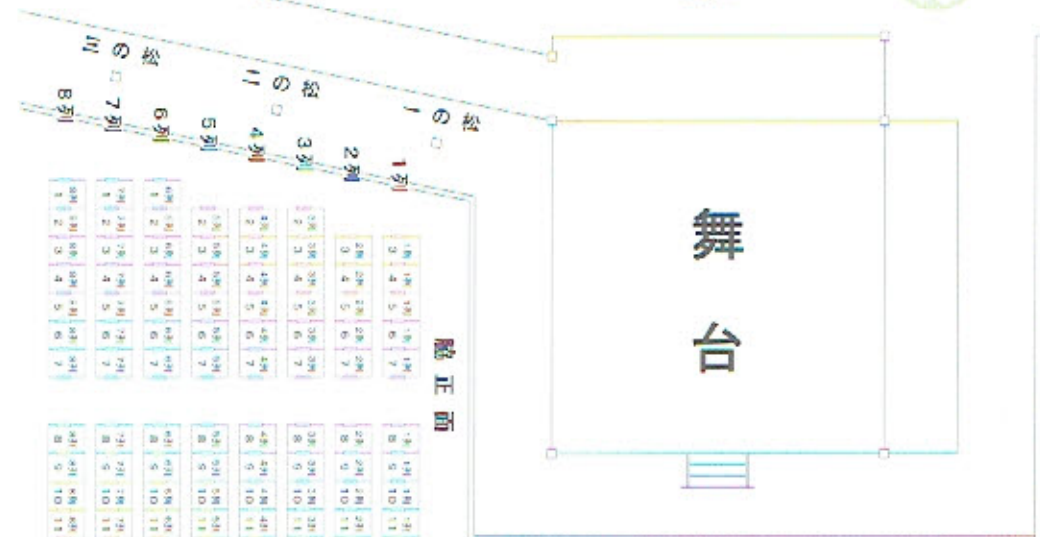
タイコ 太鼓



太鼓は両手に持った撥で演奏するため、小鼓・大鼓に比べ音の数が多く、曲の終盤のクライングラス部分に演奏します。曲によっては太鼓を使用しない曲もあります。リズムカルで華やかな演奏法、格好良い打ち様が見る者を惹きつけます。

舞

謡



一階席

非常口

チケットは
12月10日(土)より発売
料金:自由席 一般 6,000円
学生3,000円(2階自由席)
座席指定料 別途 ¥2,000

座席指定は平成29年1月10日(火)から2月23日(木)まで
エラート音楽事務所です受付いたします。
座席指定ご希望の方は一般券をご購入の上、下記電話番号までお申し込みください。
1階補助席と2階席の指定はございません。上記座席表をご参照下さい。

エラート音楽事務所：電話 075-751-0617
(受付時間 10:00-17:00 定休日 土曜 日曜 祝日)
チケット取り扱い：京都観世会館、エラート音楽事務所、各出演楽師

予告 発足100周年記念 特別公演 平成30年2月24日(土) 能「安宅」金剛永護 能「小鍛冶」片山九郎右衛門 他



京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 44
※有料駐車場がございます

TEL : 075-771-6114 FAX : 075-761-6005
HP <http://www.kyoto-kanze.jp>

一般社団法人 京都能楽獅子方同明会
ホームページはこちら

<http://www.noh-doumeikai.com>

詳しくは、
ホームページをご覧ください!

